

霞ヶ浦流域研究2021

2021年

3/7(日) 10:00～17:30
(Zoom会議室開場9:00)

参加費無料, 参加登録3/5まで
参加登録はホームページから
(<http://www.cwes.ibaraki.ac.jp/>)

▼ 午前の部

- 10:00 開会 中里亮治(茨城大)
- 10:05 汽水湖「涸沼」の全8流入河川における魚類の分布と生息環境:多地点調査に基づく解析 木村将士(茨城大)
- 10:20 久慈川に定着したコクチバスと桜川で産卵が確認されたハクレン 外山太一郎(茨城県水産試験場)
- 10:35 チャネルキャットフィッシュによる張網内漁獲物の捕食実態とその対策 古旗峻一(オリエンタルコンサルタンツ)
- 10:50 霞ヶ浦のチャネルキャットフィッシュの胃内容物と消化管と体の大きさとの相関について 市石 博(国分寺高校)
- 11:05 霞ヶ浦周辺におけるタナゴ類の呼称と食文化 萩原富司(地・人フォーラム)
- 11:20 夏期の霞ヶ浦の西浦と北浦の混合状態の比較 佐藤和貴(茨城大)
- 11:35 浅水湖における風応力に対する混合応答時間スケールの評価 浅岡大輝(茨城大)



ポスターセッション 12:30～13:30

- 1. 干渉SARIによる茨城県潮来市日の出地区の液状化被害域の抽出 木暮 聖(茨城大)
- 2. 差分吸収分光法を対象とした計測時間帯によるCO₂濃度計測結果の比較 TAN YAN LING(茨城大)
- 3. 茨城県東部(鉾田市内)のホトケドジョウ(*Lefua echigonia*)生息地調査 中島政明(茨城県自然博)
- 4. 茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター周辺で採集された水生昆虫(水生甲虫類・水生半翅類) 山崎和哉(霞ヶ浦水生生物研究会)
- 5. 額縁明渠灌漑排水方式による水田栽培と植生との関係について 黒田久雄(茨城大)
- 6. 涸沼の塩性湿地におけるミナミメダカの食性と餌料環境変動 山口真明(筑波大)
- 7. 香川県爛川を対象としたUAVIによる地形調査方法の研究 吉田 光(茨城大)
- 8. 異なる2つのCO₂計測用センサによって取得された濃度値の比較 徐 宇陽(茨城大)
- 9. ICT自動給水栓使用圃場の負荷削減効果 林 暁嵐(農工大)
- 10. 絶滅危惧種ウツセミカジカの稚魚の生息環境特性 柏谷翔大(茨城大)
- 11. 霞ヶ浦の流入河川「桜川」における魚類相とその長期的変遷 渡邊美如々(茨城大)
- 12. 北浦に流入する農業水路における魚類の分布と生息環境 浜野 隼(茨城大)



▼ 午後の部1

- 14:00 水質および付着珪藻からみた新川の環境評価 古川真莉子(茨城県霞ヶ浦環科セ)
- 14:15 北浦ハス田群の環境特徴 ～霞ヶ浦北浦沿岸と西浦沿岸のハス田群の比較～ 佐野健人(茨城県霞ヶ浦環科セ)
- 14:30 霞ヶ浦の貧酸素水塊の状況及び底泥からのリンの溶出速度について 北村立実(茨城県霞ヶ浦環科セ)
- 14:45 かすみがうら市志戸崎地区におけるユスリカ成虫発生量に関する実態調査 竹内大晶(茨城大)
- 15:00 福島県浪江町の水環境における福島第一原子力発電所事故に由来する放射性ストロンチウムの分布状況 苅部甚一(近畿大)
- 15:15 帰還困難区域の山地溪流に生息するヤマメ・イワナを対象にしたNaI(Tl)シンチレーション検出器を用いたCs-137濃度の活魚測定方法の開発 近藤陸人(茨城大)
- 15:30 帰還困難区域の溪畔林から採取した導管水のCs-137について 齊藤智幸(茨城大)



▼ 午後の部2

- 16:00 ドローンを用いた島嶼国リーフにおける有孔虫分布域の推定 桑原祐史(茨城大)
- 16:15 Funafuti環礁Fongafale島を対象とした養浜エリアの浸食モニタリング 真保琢海(茨城大)
- 16:30 Landsat,ALOS/AVNIR2を用いた一級河川堤外地のバイオマス量変化の推定 小笠原雅人(茨城大)
- 16:45 数値標高モデルの応用による避難支援情報の生成～香川県高松市を対象にして～ 佐藤悠行(茨城大)
- 17:00 全球堤防データを用いた高潮浸水被害域の推定結果とその検証
～日本、ベトナムおよび中国沿岸域を対象として～ 豊田慎伍(茨城大)
- 17:15 閉会 桑原祐史(茨城大)

*プログラムには当日の発表者のみ記してあります。

主催: 茨城大学地球地域環境共創機構水圏環境フィールドステーション(<http://www.cwes.ibaraki.ac.jp/>)
霞ヶ浦流域フィールドコンソーシアム

問い合わせ先: TEL: 0299-66-6886, E-mail: mika.tarui.8720@vc.ibaraki.ac.jp 担当: 樽井

*当センターは、文部科学省により認定された全国唯一の湖沼の教育関係共同利用拠点です。

